



企業の社会的責任(CSR)と ミレニアム開発目標(MDGs)









国連開発計画(UNDP)東京事務所

駐日代表 村田 俊一

開発と民間セクター協力(Public-Private Partnership=PPP)のパラダイムの変遷

- ◆ 1970・80年代: 第三世界諸国と多国籍企業の対峙
- ◆ 1990年代: グローバリゼーションにおける官民の新しいパートナーシップの形成
- ◆ 2000年代: グローバル世界における当事者の一員として開発問題の解決に参加

ミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals: MDGs)

- 1  極度の貧困と飢餓の撲滅
- 2  普遍的初等教育の達成
- 3  ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上
- 4  幼児死亡率の削減
- 5  妊産婦の健康の改善
- 6  HIV／エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止
- 7  環境の持続可能性の確保
- 8  開発のためのグローバル・パートナーシップの推進
 - ターゲット17: 製薬会社と協力し、発展途上国において、人々が安価で必須とする薬品を入手、利用できるようにする
 - ターゲット18: 民間セクターと協力し、特に情報・通信分野の新技术による利益がえられるようにする。

MDGs の達成に向けた国連の取り組み

◆進捗状況のモニタリング

◆研究・分析・提言活動

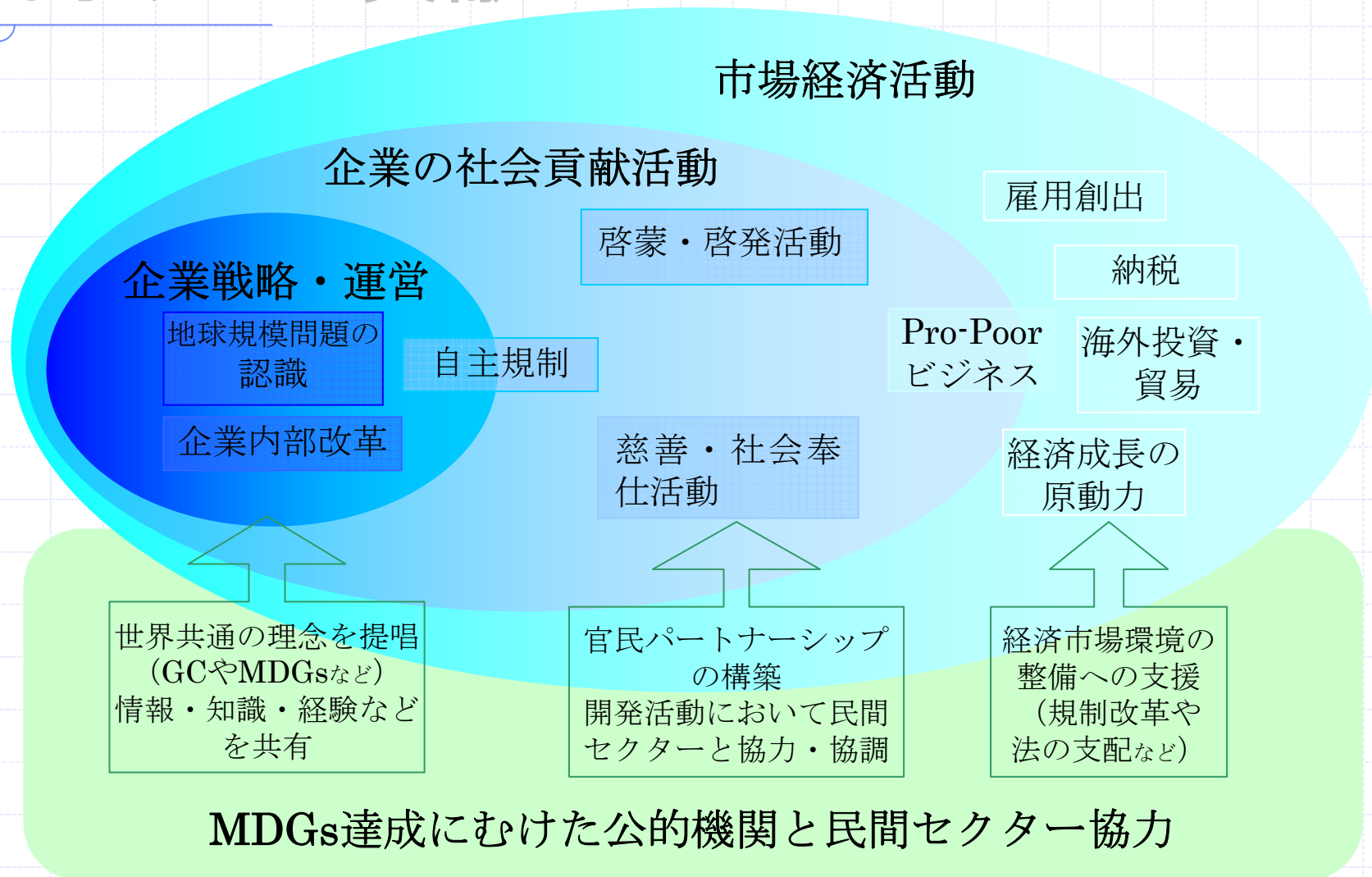
◆啓蒙・啓発活動

◆開発事業の推進

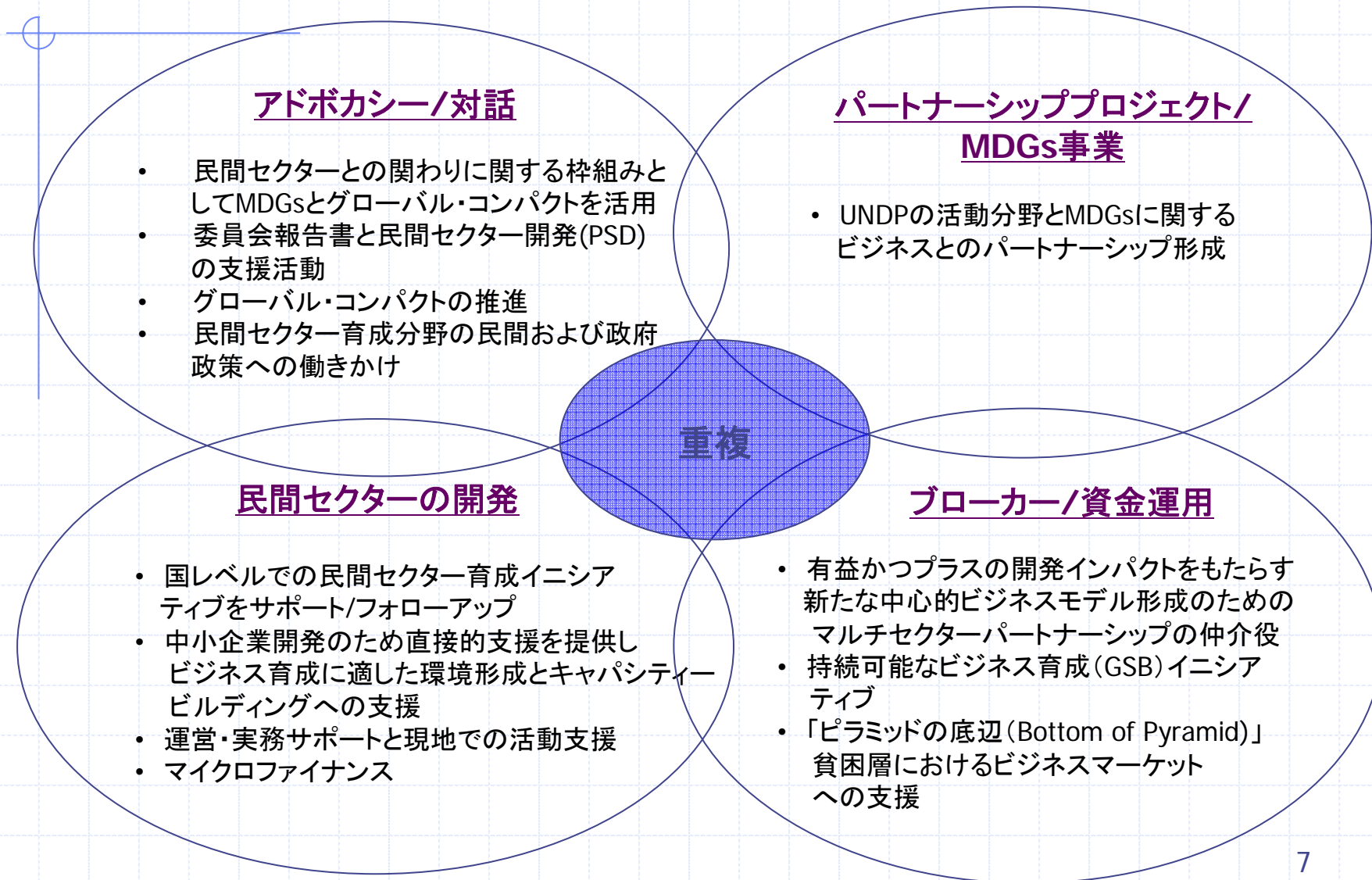
MDGs がなぜ民間セクターにとって重要なのか

- ◆ グローバル化した世界が引き起こしかねない様々な問題を解決するために地球市民の一員としてその責務を果たす
- ◆ ビジネスを持続させるための健全な世界市場環境を維持する
- ◆ グローバル化の負の側面がもたらす直接的なコストやリスクを減らす
- ◆ 将来の新しいビジネスの機会を増やす

民間セクターによるMDGs達成に向けての貢献



UNDPと民間セクター協力の枠組み



国連と民間セクター協力を通じたMDGs達成:可能性と具体例(1)

◆ 企業運営・戦略

CSR活動	可能な協力のかたち・具体例
グローバル世界における様々な問題を理解し、地球市民の一員としてMDGs達成に向けた企業の責任・責務を認識する	MDGsや開発問題に関するセミナーや勉強会、広報キャンペーンなどを通じたMDGsの理解促進
財政的、社会的、環境的に責任を持った企業経営を行う	GCなどを通じて、開発のためのビジネスパートナーシップを促進し、MDGs達成のためのより大きな責任を取るよう民間セクターに働きかけ
グローバル・コンパクト(GC)に参加する	途上国におけるグローバル・コンパクト事業の支援

国連と民間セクター協力を通じた MDGs達成:可能性と具体例(2-1)

◆ 企業の社会貢献活動 — 啓蒙・啓発活動

CSR活動	可能な協力のかたち・具体例
MDGsの達成にむけて啓蒙・啓発・広報活動を行う 国連・市民社会が行うアドボカシー、意識向上イニシアティブへの参加・貢献	「貧困撲滅キャンペーン」の一環として各種マスメディア媒体からスペースの無償提供を受け、掲載広告やコマーシャルを通じた広報活動を展開 オリンパス光学工業(株)の写真展「A Day in the Life of Africa」をUNDPが後援。収益をUNDPのHIV/AIDS啓蒙活動に寄付 ‘Stand Up キャンペーン’(日本では「ほっとけない」キャンペーン)の設立に協力。「ホワイト・バンド」運動などに賛同

国連と民間セクター協力を通じた MDGs達成：可能性と具体例（2-2）

◆ 企業の社会貢献活動 — 慈善・社会奉仕活動

CSR活動	可能な協力のかたち・具体例
<p>MDGs達成にむけて、物資提供、ボランティア活動など社会貢献事業を行う</p> <p>資金面およびその他の資源（人材、知識・経験、物資など）による既存の国連機関のプロジェクトへの支援</p> <p>官民パートナーシップのもと開発プロジェクトの形成と運営への参加</p>	<p>マレーシアにて、UNDPと協力してホンダが低所得家庭からの子供が高等教育、職業訓練を受けられるようにする奨学金を提供。</p> <p>イエメンで、Canadian Nexen Petroleum Yemenと合同で安全な飲料水の供給を目的としたプロジェクトを実施</p>

国連と民間セクター協力を通じた MDGs達成：可能性と具体例（2-3）

◆ 企業の社会貢献活動 — Pro Poorビジネス

CSR活動	可能な協力のかたち・具体例
<p data-bbox="322 639 1097 762">貧困層や恵まれない人々を対象に製品やサービスを安価で提供</p> <p data-bbox="322 986 1097 1337">貧困層の生活向上のための、妥当かつ利用しやすい製品やサービスを開発し 商業的に成り立つと同時に貧困削減にも役立つビジネス (Growing Sustainable Business: GSB)を展開する</p>	<p data-bbox="1155 639 1946 863">カザフスタンで、CitigroupやChevron Texacoと協力して中小企業への育成支援のためのマイクロ・ファイナンスのプロジェクトを実施</p> <p data-bbox="1155 959 1917 1129">インドネシアで、GSB事業を推進するため現地の日本企業とワークショップを開催</p>

国連と民間セクター協力を通じたMDGs達成:可能性と具体例(3)

◆ 市場経済活動

CSR活動	可能な協力のかたち・具体例
民間セクターの立場から政策立案プロセスに参加し、効果的な経済政策が行われるように働きかける	ベトナムにおいて、企業法の改正に民間セクターの様々な関係者の参加を促進し、ビジネス関連の法の整備を強化
市場経済メカニズムの整備や強化に貢献	中国にて、民間企業がCO2など温暖化ガスを排出できる権利を売買できる排出権取引所を設立
途上国で事業を展開する際、地元地域の活性化に貢献するような労働集約型の生産技術を採用する	フィジーで、Body Shopや現地NGOと提携して、現地の青年実業家を対象にビジネス経営やマーケティングの研修を実施
良質な現地労働力を育成する	

国連とCSR:MDGs達成にむけて 今後の取り組みの方向性

「私たちは、民間セクターが雇用と所得を創出し、より公平で豊かな社会に資するものであり、開発の仕事の大部分は、この土台づくりに過ぎないと、これまでの経験から知っている。」

2003年7月 コフィ・アナン第7代国連事務総長



- ◆ 地球市民の一員として民間セクターが自主的に財政的、社会的、環境的に責任を持った行動をとれるようにサポート
- ◆ 政策対話、途上国への資金援助など、従来「官」の公的な領域だった分野での「民」の参加の促進と「官民」のジョイント・アクションの増加
- ◆ 慈善事業を超えた、商業的に成り立つと同時に貧困削減にも役立つ、企業主体による事業プロジェクト(GSBなど)をさらに促進